

2015年度
地域振興賞

囲碁の普及と国際交流に貢献

日本棋院境港支部が受賞

境港商工会議所は、2015年度（第13回）「境港商工会議所地域振興賞」の受賞者を日本棋院境港支部（中野町、村上陽生支部長）に決定し、10月19日に表彰式を行いました。

日本棋院境港支部は、1979年12月に設立され、活動の場となる碁会所は、現・境港支部顧問の足立昭治氏が建物を提供して設置したものです。



堀田収会頭(左)から賞状を受け取る日本棋院境港支部の足立昭治顧問

同境港支部は、1980年にみなの祭協賛事業として「みなの祭交流対局」を開始。1997年から青少年育成を目的とした「境港囲碁未来教室」、2005年から「中海子ども本因坊戦及び伝

統文化活性化囲碁大会」も実施しています。さらに、「第1回鬼太郎カップ日韓囲碁交流戦」を2010年3月、韓国の京畿道利川市で実施。以来計4回、日本と韓国の相互を会場に交流戦を開催してきました。表彰式では、堀田収・境港商工会議所会頭が「囲碁の普及と囲碁人口の拡大を図り、青少年教育・教養・文化の育成と

国際交流に寄与した功績は大きい」とたたえました。地域振興賞は、地域社会のために地道な取り組みをし、その活動が他の模範となっている団体（グループ）や個人を表彰しようと、境港商工会議所が2003年に創設したもので、これまでに鬼太郎音頭保存会や美保基地准曹会などが受賞しています。